

**通信** **ともに** **第26号**

発行者/認定NPO法人ともに  
住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目  
でんわ (0136) 55-5828  
FAX (0136) 55-5829  
Eメール info@npo-tomoni.com  
公式ホームページ <http://www.npo-tomoni.com>  
公式ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

2015年7月15日発行

### 火の用心 消防演習\*1

6月24日 倶知安文化福祉センター  
羊蹄山ろく消防組合 倶知安消防署主催



### 今月の一枚

### 講演会・研修会活動 みんなで学ぼうシリーズ、新任の熊谷先生が登場

みんなで学ぼうシリーズ⑨  
**「八雲で経験したこと」**  
～前任地北海道(どうなん)で～

◆講師 倶知安厚生病院 精神神経科 医師 **熊谷 智 先生**

みなさん、はじめまして！  
4月に八雲の倶知安から赴任した  
熊谷 智と申します。  
八雲でのあんなことや、  
こんなこと・・・  
お話ししたいと思います。

**参加費 無料**  
～どなたでも  
ご参加いただけます！

○とき 平成27年6月22日(月) 18:30～20:00ころ  
○ところ 喫茶 羅針亭1 (倶知安町南3番1)

主催 NPO法人 ともに (NPO本部 倶知安町北3条西2丁目)  
協力 JANA北海道支部 倶知安支部  
問合せ先 倶知安厚生病院 心のケアセンター 熊谷 智まで  
TEL (0136) 22-1141 (内線3210)

6月22日の“みん学”は、4月から倶知安厚生病院精神神経科に赴任した熊谷智Dr.が講師でした。八雲町の観光名所や名勝を紹介し、八雲総合病院で経験したことを語っていただきました。

熊谷Dr.は、八雲の前に勤務していた大学病院ではあまりなかった「元気になって退院される方が多い」ことに気づき、退院後の患者さんの生活をどうするかを考えるようになったそうです。

病気の再発を防ぐこと、本人のやりたいことができ楽しく生きていけるための手伝いをするのが大事なことだ、と感じていると話していました。

今回の“みん学”は7月28日。こちらも今年度赴任された菊地末紗子Dr.による「認知症の予防について～嫌なことだけ忘れたい～」の予定です。

熊谷先生より一言  
倶知安厚生病院精神科の熊谷です。  
6月のみんなで学ぼうシリーズで、以前の赴任地である八雲について話をしました。以前はこういう機会がなく、ほとんど八雲町の紹介となっていました。また次回頑張ります。



**その2**  
**心の詩**  
作：あったかい缶コーヒー

ペンネーム「あったかい缶コーヒー」さんの詩集第2弾です。  
今回は短編を中心に掲載しました。

### 編集後記

先月当法人の今年度新職員歓迎を兼ねた懇親会をしました。職員数は現在20人。法人設立時にわずか2人だったところと比べて規模の大きさに改めて驚きです。みなさまの協力をいただきながら、私たちはさらに前進していきます。(かわさき)



### 診察室で考えていること(仮) その15 いかがなものか

私には自分の口から発しないと決めている言葉がいくつかある。この言葉を分別なく連発するようになったら、「ああ～、私も終わったな」と思って、消え去ろうと思っている。その一つが「いかがなものか」という音である。強い立場の人間が弱い立場の人間の意見を圧殺する時によく聞く音である。聞くべきは立場の弱い人間の言葉である。字面通りに聞く必要はない。おっしゃる通り「いかがなものか」であることが確かに多いから。聞くべきところは、その言葉を発するまでの過程である。「いかがなものか」になってしまった、その切なさや悲しみに耳を傾けられるか。 ともに顧問(自称)

「心一つ」  
心を一つにすればきっとあったかい手で赤ちゃんをあやしてあげよう  
わが子が可愛くない親なんていないもんね

「大切」  
日ごろの毎日の道すじ間違えず  
けんきょにいれば 敵はつくらない  
それぞれが手を結ぶとき 必ず来ると信じ  
気持ちを分かち合おう 新しい時代へ

「相手へ伝えたいこと」  
何だろう それはどうしたらいいのか  
それは つまづいても結果オーライ  
今日も空は明るいよ

### 各事業報告～6月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 契約/移行3名、継続B21名 見学/3名 体験/1名
- ◆グループホームよろこび 現利用者/17名(定員20名) 見学/1名、体験/2名
- ◆法人会員 正会員18名(+1名)、賛助会員 団体2 個人69名(+2名)
- ◆講師派遣 WRAP 2Dayクラス～札幌市・北海道ピアサポート協会 13日～14日(かみよ)
- ◆寄付物品 食料品(アスパラ、わらび、すいか、菓子類～)、牛乳パック

### 賛助会員のおねがい

みなさまの会費は法人本部の貴重な財源として活かされています。今年度もぜひ**ともに**の活動を応援してください。賛助会費は郵便振替を利用してくださると便利です。  
郵便振替番号 02790-3-84789  
口座名義 特定非営利活動法人ともに  
※会員さまの住所・氏名・電話番号を明記してください。

俱知安で“花といえばこの人”と言われるほど自宅にたくさんのお花を育てている千葉隆子さまに花壇のレイアウトをお願いし、アスファルト工事が終わるまで待っていただきましたが、ようやくワークショップ農業部と一緒に植えることができました。

27種類の花々がこれから毎年春から秋にかけてきれいに咲き誇ることでしょう。珍しい花の名前もお楽しみください。



食堂壁面の花だん



ベシカリア



ヤグルマギク

## 千葉隆子さん庭園を訪問

7月6日、その千葉隆子さまのお宅へ取材に伺いました。90歳とは思えないほどお元気で、晴れた日には一日中手入れをしているとのこと。お庭をじっくり周りながら、次々と花を紹介していただきましたが、覚えきれませんでした・・・ごめんなさい。

本格的に始めたのは70代になってから。全道を回って購入した珍しい花々を毎年覚えるのは大変だけど頭の体操になるとのこと。冬期はパッチワークをしているそうで、家の中にはところ狭しと作品が壁一面に展示していました。

千葉さまは「花とパッチワークが私の生きがいであり、健康のもととなっています。これからも続けたい」と話していました。



広い庭園



パッチワーク



ナデシコ



デルフィニューム（手前の青い花）とエルムルス（オレンジ色）



就労移行支援では、就職に向けてさまざまな関係機関にお世話になっております。小樽にある「小樽後志地域 障がい者就業・生活支援センターひろば」さんもその一つです。

「ひろば」さんは当事業所を含む後志の就労支援事業所やハローワークと協力し、障がい者の就職に向けたさまざまな支援をしています。先日「ひろば」さんがどのような活動をされているのかを聞きました。

## ——どのような体制で活動していますか？

就職するときには生活の支援や就職後の本人・就職先へのサポートが必要です。就業支援担当者、生活支援担当者、就職前の現場実習や就職後のサポートをする定着支援員がそれぞれを支援します。



### 就業支援担当者

職業に関する相談（求職、離職、人間関係の悩み～）を受け、支援する



### 生活支援担当者

就労生活全般（経済面、家族関係～）に関する相談を受け、支援をする



### 定着支援員

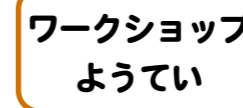
職場で長く勤められるよう就職前後のサポートを担う。本人と就職先の両方へ働きかける

## ——「ひろば」と私たち事業所の 仕事で共通のことや異なることは？

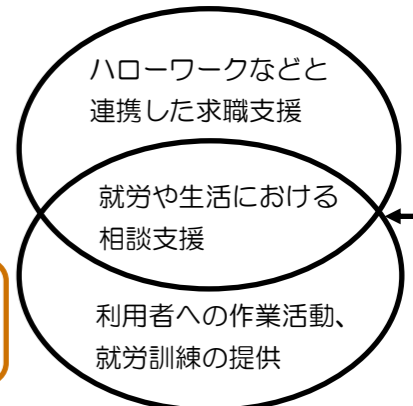
事業所さんと同様に就労に関わる相談支援をしていますが、私たちは後志全域に関わり、利用される方々の希望に沿って支援できるため、広範囲の情報収集や柔軟な対応が可能です。



ひろば



ワークショップ  
ようてい



## ——俱知安地区の支援を していると感じることは？

児童、就労などがコラボレートした活動をおこなっているの、とても活気があるな、と思いました。

ありがとうございました。次回以降も就労に向けた支援についてお伝えします。

勤め始めて3か月。「わっくわく」完成時から勤務できることを光栄に思います。ほぼ週に一度の勤務を重ねるごとに利用者さんの表情やワークショップでの活動など少しずつ変わってきているような気がします。利用者さんの純粋な気持ちは私自身に勇気を与えてくれます。

（あきら）

4月よりグループホームの夜勤専門の生活支援員として働いています。福祉関係の仕事は初めてなので不安もありましたが、みなさんの助けを借りながら夜勤を続けています。

利用者さんが安心して生活できるように少しでもお役に立てればと思っています。これからもよろしくお願ひします。（しょうこ）

